

マイナ保険証1429件無効

データ不備 10割負担請求200件超

保団連調査

ルが続出する事態となつて
いる」と話した。

健康保険証を廃止してマ
イナンバーカードに一本化
するマイナンバー法など関
連改正案は現在、国会で大
詰めの審議を行つてゐる。

健康保険証とマイナンバ
ーカードが一体化した「マ
イナ保険証」を医療機関で
提示した際、資格が有効に
もかかわらず登録データの
不備などが原因で「無効」
とされたケースが全国で今
年四月以降、一千四百二十
九件あつたことが、医師ら
でつくる全国保険医団体連
合会(保団連)の調査で分か
った。初診でマイナ保険証
のみ持参の患者に対し「無
効」を理由に「いつたん十割
負担」を請求したケースは、
東京都や千葉県などで少な
くとも一百四件あつた。

調査は今月二十一日から
全国の保団連加盟の医科・
歯科・病院など医療機関を
対象に実施。二十九日まで
に東京、静岡、三重など計
二十四都府県の保険医協会
から回答があつた。

二十九日に会見した保団
連の竹田智雄副会長(岐阜
市・竹田クリニック院長)
によると、「無効」となつ
た理由は、事業所の被保険
者情報の抹消や更新の遅れ
により、古い保険証情報が
データ上切り替わっていな
かったのが直接的な原因と
みられるといつ。

また、東京や長野などで
「マイナ保険証に他人の情
報がひもづけられていた」
との回答が三十七件があつ

た。このうち茨城では二〇
の医療機関で七件のひもづ
けミスがあり、いずれも健
康保険証を自視で確認して
資格確認を行つた。本人情
報のほかに別人二人分の計
三人分の情報が医療機関用
端末に表示されたケースも
あつた。

竹田副会長は「政府は医
療機関に対し、顔認証付き
カードリーダーを設置し、
審査支払機関のサーバーに
常時アクセス可能な電子機
器の整備を義務付けた。そ
れがきちんと稼働するかど
うかの検証なく見切り発車
した結果、患者とのトラブル

が多発している
」政府は七月末までに、全
国三千四百の健康保険組合
などに登録情報データの点
検を指示している。これだ
けトラブルが多発している
のだから、今国会での法案
採決はありえない」と話し
ている。